

AS-04A取扱説明書

ainex

i 塗布方法は一例です。ご自身で最適な方法/塗布量をお探ください。

- ⚠**
- 最高の性能を発揮するには最低25時間ほどかかります。クロックアップなどの最大発熱を行う前に慣らし運転をしてください。
 - 本製品は接着剤ではありません。
 - 本製品は自作パソコン用です。他の用途での使用はしないでください。
 - 子供やペットの手に届かない場所に保管してください。
 - 高温多湿を避け、冷暗所に保管してください。
 - 使用後はキャップを元に戻してください。
 - 長期保管の際は、わずかな分離を防ぐためキャップ側を下にしてください。ただし再度混ぜれば品質に影響はありません。
 - 冷蔵庫などの冷暗所に保管すると分離を低減することができます。
 - さらに詳しくはArctic Silver社サイトをご覧ください。MSDS (化学物質等安全データシート) が入手可能です。国内向けはご用意していません。

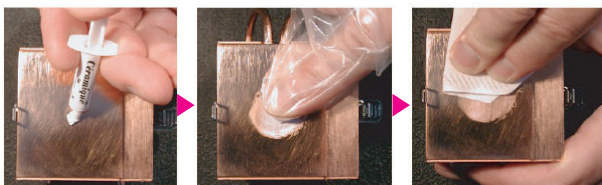


AS-CLN

取付方法

1 本製品を使用する前にヒートシンクとCPUコアから熱伝導パッド、あるいは熱伝導グリスを完全にふき取ってください。2ステップグリスクリナー (AS-CLN) などの溶剤を使用すると完全に取れます。

2 表面にゴミなどの不純物がないことを確認してから本製品を絞り出してください。ヒートシンクはCPUコアに接触する面に塗りつけた後、微細な金属の溝をグリスで埋めるためにレンズ用ティッシュなどのリントフリー紙で拭き取ってください。ヒートシンクに凹凸がある場合は補足を参照してください。



本製品をCPUコアに接触する面に適量を出します。(画像はAS-04です)

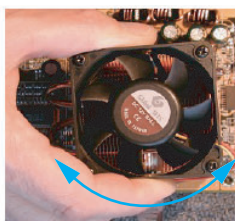
直接指で塗らずにポリ袋などを使い、回すように広げます。

レンズ用ティッシュなどで拭き取ります。

i 【ヒートパイプ直接接触型ヒートシンクなど、底面に隙間や突起がある場合】ヒートパイプとそれを囲むヒートシンクの隙間にへらなどでグリスを塗ります。へらなどをあらゆる方向に動かして隙間を埋めてください。すべての隙間や突起を埋めるのに充分な量を使用してください。CPUと接触する部分の塗布層は半透明になるまで伸ばしてください。手順2と異なり、拭き取りません。余分はCPU側への塗布に使用してください。

3 表面にゴミなどの不純物がないことを確認し、後述のCPUタイプ別グリス塗布場所と量を参考にしてグリスを絞り出してください。

4 真上からヒートシンクを取り付けます。可能であれば、空気を抜くために固定したヒートシンクを左右に1~2°回してください。ヒートシンクには回せないものもあります。ヒートシンクを固定することで、ヒートシンクとヒートスプレッド上にグリスが伸びます。



CPUタイプ別グリス塗布場所と量

Vertical Line (Intel)

- 第4世代・第3世代Core i7 / i5 / i3
- 第2世代・第1世代Core i7 Extreme Edition / i7 / i5 / i3 ●Core2 Duo
- Celeron Dual Core
- Xeon E7 ●Xeon E3
- Xeon 5500 / 5600 / 5250 / 5100 / 5000 / 3500 / 3000

Horizontal Line (Intel)

- Core2 Quad Extreme / Quad
- Pentium Dual Core
- Pentium D Dual Core (旧型)
- Xeon 7500 / 7000 / 6500 / 5400 / 5300

Middle Dot (Intel)

- Pentium Single Core
- Pentium 4 (旧型)
- Celeron Single Core
- Celeron D (デスクトップ) (旧型)
- Xeon 9000
- Xeon (ヒートスプレッドあり) (旧型)

●塗布場所



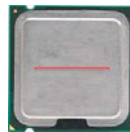
●塗布量



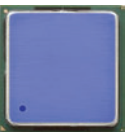
●塗布場所



●塗布量



●塗布場所



●塗布量

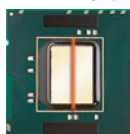


CPU角の三角マークを左下にします。ヒートスプレッド中央に薄く1mm幅の1本線で垂直にグリスを引きます。

CPU角の三角マークを左下にします。ヒートスプレッド中央に薄く1mm幅の1本線で水平にグリスを引きます。

生米1.0粒分のグリスを中央に塗ります。

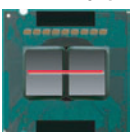
●コアの位置



●伸長イメージ



●コアの位置



●伸長イメージ



●コアの位置



●伸長イメージ



Surface Spread (Intel & AMD)

Intel

- 第2世代・第1世代Core i7 Mobile / i5 Mobile / i3 Mobile
- Core2 Quad Extreme Mobile / Quad Mobile / Duo Mobile
- Pentium M Mobile (旧型)
- Pentium 4 Mobile (旧型)
- Celeron Mobile
- Celeron M Mobile (旧型)
- Xeon Mobile
- Xeon Server (ヒートスプレッドなし全て)

AMD ※ノートPC向けCPUが対象

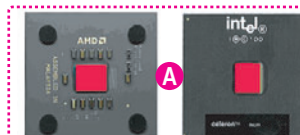
- E-Series APU
- A-Series APU
- Athlon Neo / X2
- Turion X2 Ultra / Neo
- Sempron
- AMD Single Core (旧型)

Middle Dot (AMD)

※デスクトップとサーバー向けCPU

- FX 8-Core / FX 6-Core / FX 4-Core
- E-Series APU ●A-Series APU
- Athlon II X2 / X3 / X4
- Athlon X2 Dual-Core ●Athlon
- Phenom II X2 / X3 / X4 / X6
- Phenom X3 / X4
- Sempron ●AMD Single Core (旧型)
- Opteron Single-Core / Dual-Core / Four-Core / Six-Core / Eight-Core / Twelve-Core

●塗布場所



●塗布量



●伸長イメージ



●塗布場所



●塗布量



生米 (A) 0.5粒 (B) 1.0粒分のグリスを角に塗ります。グリス用へら (GH-01) などを使用し、空気が入らないようにして平らに伸ばしてください。

厚みはわずかにコアが透けて見える程度です。サイズで表せば0.003~0.005インチ(標準的な重さの紙の厚さ)です。



GH-01

A 小さいコア

B 大きいコア (Athlon 64 / Pentium 4など)